

# 大館へ

大館ふるさと会からのたより⑭

副会長 齋藤 貞さん

(横浜市在住)



本年一月二十八日から三十日まで、東京・渋谷郵便局を会場として大館物産展が開催され、地元大館市からは小畑市長はじめ市当局関係者のかたがた、ゲストとしてNHKの石戸谷健一アナウンサーも参加して交流を深めました。会場は都の中心部に位置し、たいへん立地条件のよいところでしたので、初日から大勢の人々が訪れてにぎわい、終始盛況の中で幕が閉じられました。

ところで、物産展では物産品の展示販売を中心に、きりたんぼの

無料サービスや秋田犬の小犬とのふれあいコーナー、アメッコのブレゼント、ドームや空港のPRなど、多彩なイベントでありましたが、特に人気を集めたのは大館ならではの特産品・曲げわっぱの実演と、きりたんぼコーナーではなかつたかと思っております。私も期間中、きりたんぼコーナーで手伝いをいたしました。本場大館のきりたんぼを直接味わっていたかどうかと午前と午後各一回、地元大館の「北秋くらぶ」の板前さんたちが腕前を振るってくださいました。

いがあり、各回とも長い行列ができるほどの繁盛ぶりでありました。そのほか、秋田犬の小犬とのふれあいコーナーでは、あまりのかわいさに思わず立ち止まって興味ぶかげに見入っていた人々の姿が心に残っております。

首都圏から空港を利用しての日帰り観光も夢ではなく現実となったこの時期に、都心で開催されたこれらのイベントは、今後、大館への観光客の誘致にいい結果をもたらしてくれるものと期待しております。

## いねなはなはな?



周辺の地名には見当たらず…

### 『田中橋』の名の由来とは?

多くの場合、それが架けられている場所・地名に由来する、橋の名。二井田大橋や新真中橋もそうです。ところが、田中橋の周辺には「田中」という地名はなく、なんとも不思議な気がしますよね。

実は、これには次のような史実が…

明治期、上川沿村(根下戸)に田中藤治という肝いりがおり、当時、渡し舟しかなかった川向こうの真中、二井田との交通を便利にしようと、巨費を投じて橋の建設を志しました。しかし、米代川は川幅が広く水量が多いため、工事半ばにして幾度となく橋の流失を繰り返し、完成への行程は困難を極めた、という苦心談が残されています。

橋は完成し、天候に左右されず安全に米代川を渡ることができるようになりました。田中橋の名は、この田中藤治の姓に由来している、というわけです。

## 盛岡発 → 大館着



前略

### 大館市民になりました⑪

☆今回は、東成町の田谷廣光さんご一家に伺いました。

Q・ご家族は何人ですか?

妻ふみ子、長女の亜希子と私の三人です。

Q・どちらからおいでになりましたか?

去年の今ごろ、盛岡から越してきました。ただ、私自身は大館出身ですので、十年ぶりに帰って来たかたちになりますね。

Q・大館の印象はいかがですか?

十年前に比べてあまり変化がない、という印象を受けました。十年前、既に第一次産業をベースとした大館の経済社会にはかげりが見えていたのですが、現在でも根本的な変革もたらされていないようで残念です。往時の繁栄に固執し過ぎず、外へ打って出る姿勢が望まれますね。

Q・食べ物や言葉はいかがですか?

大館の味には慣れ親しんでいましたから…。きりたんぼなどはやはり本場だけあっておいしいです。言葉の面では、個人的な大館弁を知らないかたにはやはり聞き取りづらいのだろうな、と感じてしまいます。

Q・大館に何を望みますか?

ドーム、空港、高速道路など数々のプロジェクトは心強いですね。大いに期待しています。

特にドームについては、スポーツ分野専任のアドバイザーを配置すれば、全国のあらゆる団体が合宿に殺到するものと思います。かつて輝かしい実績のあった地元出身の名選手がおられることですし、そういつたかたちをお迎えしてみたいかがでしょうか。

